

協働事業評価書（モデル事業：課題部門）

基本項目

事業名	いきいき市民講座
受託団体	ライフコーディネート静岡（LCS）
委託金額	¥ 2 9 9 , 9 9 9 -
目的	<p>広く市民のみなさまにNPOについての理解を深めていただくとともに、新たな市民活動の進展を図ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会における中高年者の生きがいの場づくり ・ 活力ある高齢者と現役多世代間の人間関係の構築 ・ 多方面での優れたシーズ・情報の収集提供 ・ 新活動のインキュベート
内容	<p>中高年を主とした一般市民および市民活動団体関係者を対象に講座及び交流会を開催する。</p> <p>講座回数： 3回（各回ごとに交流会を開催）</p> <p>第1回： ひとづくり「サッカーをキーワードに ひと・まち・交流」 講師 綾部美知枝氏（静岡市サッカーのまち推進室長） 日時・会場 平成16年9月24日（土）13:30-16:00 静岡音楽館AOI 参加者 40名 内容 別紙</p> <p>第2回： ふれあいづくり「私の人生 - アカウミガメの来る浜辺を守って」 講師 馬塚丈司氏（サンクチュアリジャパン代表） 日時・会場 平成16年10月23日（土）13:30-16:00 静岡県男女参画センター あざれあ 参加者 42名 内容 別紙</p> <p>第3回： まちづくり「ビジョンなきところに未来はない」 講師 甲賀雅章氏（デザインプロデューサー） 日時・会場 平成16年11月13日（土）13:30-16:00 清水テルサ 参加者 38名 内容 別紙</p> <p>総合交流会： 「NPOと市民活動」 ファシリテーター 宮城島清也主査（静岡市市民生活課） 日時・会場 平成16年12月4日（土）13:00-16:00 静岡県男女参画センター あざれあ 参加者 15名 内容 別紙</p>
成果	<p>予定よりも人数的には少なかったが、多数の中高年者の参加があり、講師のタイムリーで内容の濃い講演や意見交換によって、市民活動やまちづくりへの理解推進、意欲向上を果たすことができた。</p> <p>交流会参加者が少なく、交流によるネットワークづくりや新活動のインキュベートまでには至らなかった。</p> <p>中高年者組織と行政が協働する際の事業のノウハウを、市、ライフコーディネート静岡共に得ることができた。</p>

評価項目

1. 仕様書記載の事業内容は適正に実施したか？（開催回数、日数、会場、講師選定など）

適正に実施した

おおむね適正に実施した

適正に実施できなかった部分もあった

適正に実施できなかった

【コメント】

講師については、事業目的に合った魅力ある人選がなされ、講演内容も充実していた。
開催回数、会場設定についても適正であり、会場運営についてもスムーズに行なわれた。

2. 仕様書記載の事業内容を実施した結果、見込みどおりの結果を得られたか？

見込みどおりの結果を得られた

おおむね見込みどおりの結果を得られた

見込みどおりの結果をあまり得られなかった

見込みどおりの結果を得られなかった

【コメント】

参加者数が予定を下回った（80名 40名）。対象者のニーズ把握が甘く、PR方法に工夫が足りなかった。
各回の交流会では活発な意見が出され、講師が十分に回答することができた。参加者の理解は深めることができたが、参加者同士の交流までは至らなかった。

3. 1,2の結果、当初の目的を達成できたか？

当初の目的を達成できた

おおむね当初の目的を達成できた

当初の目的をあまり達成できなかった

当初の目的を達成できなかった

【コメント】

NPO についての理解を深めていただくという点では、当初の目的を概ね達成することができた。
参加者同士の交流の促進や新活動のインキュベートなど新たな市民活動の進展につなぐという点では、改善の余地が残された。

4. 協働だからこそ、得られた成果があったか？

協働だからこそその成果が得られた

協働だからこそその成果が少しは得られた

協働だからこそその成果は得られなかった

【コメント】

ＬＣＳは自らの自立性や責任感を強く持ち過ぎていたため、市への相談が不足していた。市はＬＣＳの自立性への配慮から、適切なものを含めてアドバイスなどを遠慮しすぎた。このような理由から、相互にコミュニケーション不足が生じた。

ＬＣＳは立ち上げ時期の組織である上、民間企業OBが多く、NPOの特長である「コミュニケーションによる目的の共有」という意識に欠けており、分業による効率化の志向が強すぎた。それは、ＬＣＳと市の間だけでなく、組織成員同士にも言える。

市はＬＣＳが組織として立ち上げ時期にあることを考慮し、適切なアドバイスや情報提供をすべきだった。

市、ＬＣＳ共に、中高年者で構成するNPOと行政との協働に関するノウハウについて、貴重な経験を得ることが出来た。